

▼第2次栃木市観光基本計画 進捗確認表

基本目標4 体制・人づくり		実施スケジュール								内部評価	
		進捗								内容（取組状況・課題）	コメント
基本施策		単位施策	具体的な方策	R5	R6	R7	R8	R9			
1	観光推進組織の体制強化	栃木市観光まちづくり推進連絡会議の開催	栃木市観光まちづくり推進連絡会議での計画の進捗管理及び評価						着手	栃木市観光まちづくり推進連絡会議を開催し、計画の進捗管理及び評価を行っていく。	・着手する項目が増加した事もあり、会議の回数が減少した。経緯も踏まえて意見交換の場の頻度があがると良い。 ・様々な立場や事業者さんの意見は重要と思います。
		観光協会の体制強化	観光協会各支部の統一化						未着手	平成30年度に各地域にあった観光協会を統一し、支部化した。支部の組織体制の統一化については、現在支部において桜まつりの実施等もあることから、当面の間現体制を継続し、DMO化のタイミングでの統一化を目指します。	
			観光協会のDMO化						着手	DMO化を目指す取り組みとして、令和6年度に旅行業登録の準備を行い、令和7年度に登録を予定している。産官学連携の中で、ミーティングやシンポジウムを開催し観光協会と情報共有をすることで、DMO化を検討していく。	・どのタイプのDMOを構築するか、地域の特徴を活かし又、近隣自治体連携を視野に入れた合意形成を図る。
2	観光関連事業の活性化	異業種間連携の促進	栃木市フードバレー構想に掲げる「食と観光に関する取組」の推進						着手	観光施設での江戸料理の提供やコエド市場等でのご当地食材を使ったオリジナルメニューの開発、令和7年1月に鉄道事業者と開催した鉄道イベント開催時に江戸料理の販売や畜産品や農産物加工品の配布などを同時開催するなど食と観光にを関連付けた取り組みを行った。	・江戸料理が観光客の増加や地域活性化にどのような影響を与えているか、数値や事例を交えてお示しいただけると説得力が増します。具体的な数値などが示されると実効性が増すと考えます。 ・江戸料理もいいと思うが、知名度が高いとは言えない。栃木市の目玉となるようなストーリー性のあるB級グルメを開発してほしい。 ・江戸料理は予約しないと食べられないので施設で常に提供できればよいPRになるのではないかな？
		産業観光の開発	農林業体験や工場見学等を活用したおすすめプラン・モデルルートの作成						未着手	田植えや農作物の収穫等の農業体験や、栃木レザー等の工芸品の作成体験等を組み入れたモデルルートを作成できるよう、関係部署及び民間事業者と連携して検討する。	・農業体験は良い ・滞在時間を考慮した上で、どこまで体験するのかの着地点を決め、伝統工芸や食に関するルートがの構築が必要。みかも自然の家を取り込むことも提案。 ・二条大麦など栃木市を代表する農産物を観光資源化できる取り組みなど大いに期待します。
3	市民の意識の高揚感	市民向け観光の充実化	市民に向けた観光情報の発信						着手	広報誌や市の公式LINEで市民向けに情報を発信している。また、市民が身近な観光資源に親近感や興味を持てるように出前講座を行っている。また、巴波川・みかも山・渡良瀬遊水地などで市民と協力して美化活動を行っている。	・嘉右衛門町の伝建地区など市民と連携が不可欠な観光資源もあり、國學院大學・東武鉄道・当社・栃木市との4者協定で実現したまちづくりシンポジウムなどによる市民への啓蒙活動の推進が必要と考えます。 ・巴波川の清掃活動はメディアの効果もあり定着している。市民と自治会と市が協力して町のシンボルを守っていることが伝えられているはず。
		おもてなし教育の推進	児童・生徒の祭り等への参加促進						着手	「令和6年とちぎ秋まつり」で「こども山車まつり」を開催し、約2,500人の児童が参加した。学生ボランティアも約300名が参加した。また、横山郷土館では児童向けのイベントを開催した。	・こども達の郷土愛を醸成する取り組みとして地元の祭りに参加することは重要と考えます。 ・こども山車祭りに全校の児童が参加できたことはとてもよかった。中学生、高校生の参加がさらに増えるとまつりの伝承にもつながると感じる。 ・大きな取組であり評価いたします。継続及び更なる充実化を図る。
			観光関連事業への職場体験、インターンシップの受け入れ促進						着手	大学生のインターンシップでは、市内を散策し観光資源について理解を深めた後、横山郷土館や栃木市観光交流館「蔵なび」で実際に市民と触れ合うことで「おもてなし」の意識の醸成した。	・世代間の交流は様々な視点から地域を見つめ直すという側面からとても良い取り組みだと思えます。
4	観光まちづくりを担う人材の確保と育成	観光関係者への研修	観光関連事業者ホスピタリティ向上研修の実施						一部着手	令和3年度まで開催していた観光協会と連携し、栃木市魅力アップ観光セミナーを対象者や研修内容を見直し、実施を検討していく。	・観光客は地元の「おすすめ」を聞いてくる可能性が高い。観光関係者はもとより、市民が「案内人」として成長できる講座を開催してほしい。 ・セミナー実施後のフォローアップ体制や、参加者に対する具体的なサポートの充実が、より高い効果を生むポイントとなります。
		観光ボランティアガイドの養成とスキルアップ	観光ボランティア養成講座の実施						着手	栃木市中心市街地をガイドする『栃木市観光ボランティア協会』や渡良瀬遊水地をガイドする『渡良瀬遊水地ガイドクラブ』、太平山トレッキングガイドを行っている『NPO法人太平山南山麓友の会』等の各観光ボランティア団体それぞれの長所等を学べるよう、交流する場を設ける。	・よろしく願いたします。 ・各地域には素晴らしいスキルを持ったガイドさんがいらっしゃいます。次世代への育成もふくめ養成を進めていただきたいと思います。